

(お知らせ)

## 定期検査中の福島第二原子力発電所3号機における誤警報の発生について

平成19年4月24日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

当所3号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）は、平成19年3月9日より第14回定期検査を実施しておりますが、本日午後3時24分に「A系原子炉手動スクラム\*」と「B系原子炉手動スクラム」の警報が発生し、午後3時41分、同警報を解除いたしました。

本事象は、原子炉内の中性子量を測定する装置の点検作業を行っていた際、誤って警報が発生したものと推定しておりますが、今後、原因について詳細に調査いたします。

なお、本事象は警報のみ発生したもので、原子炉内の全ての燃料は取り出されており、安全上の問題はありません。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

\*：A系（B系）原子炉手動スクラム

原子炉を手動で緊急停止した際に出る信号。なお、3号機の原子炉内に燃料はなく、同信号による制御棒の挿入はない。